－３０年度の新たな取り組みについて－

本年度、本校の教育活動の充実及び生徒の健全な成長と学力の向上をめざして、次のような取組を実施いたします。

①　１年生の若あゆを、２泊から１泊とします。
→「総合的な学習の時間（年間５０時間)」の効率的実施を図ります。

②　２年生の神奈川校外学習を廃止し、職場体験を２日から３日に拡大します。
→新学習指導要領で重視されているキャリア教育の充実を図ります。

③ 定期テストを年４回から３回にするとともに、各観点のＢ基準を提示します。
→定期テストは各学期１回とし、保護者の皆さまから要望が多かった平均点提示の代わりに、全教科で各観点のＢ基準をテスト記録表に記載します。

④ 学力テスト（各学年･年間２回実施）の返却時に、「偏差値換算表」を配付します。
→県内実施校生徒の中での相対的位置をお知らせすることにより、生徒の進路に対する意識づけを図ります。

⑤ 同好会活動の月予定（土日祝は最低月２回以上の休業日）をＨＰへ掲載します。
→相模原市立中学校部活動指針及び本校同好会ガイドラインを徹底するため、その適正な運用について可視化を図ります。

⑥　５教科の持ち帰りルールを撤廃し、自己判断・自己決定とします。（２月から実施）
→生徒の健康面に配慮した変更点です。

⑦「スマホのルール」を、生徒会及びＰＴＡで主体的に検討していただきます。
→生徒及び保護者の両面から、この問題を考えていただきたいと思っています。

⑧「共和中学校　学力向上プラン」を実施します。
→本市においては、児童･生徒の学力問題が大きな課題となっており、教育委員会では、本市児童･生徒の学力向上を図るため、様々な取組を始めています。
本校でも、生徒の基礎学力の定着をめざし、「共和中学校　学力向上プラン」を実施します。

【具体的な内容】

１　従来から行っている取り組み
（１）読解力を養うための１０分間の朝読書
（２）毎週金曜日の学年共通の課題配付（通称；週コレ)、教科は数学
（３）定期テスト３日前からの放課後の学習相談会

２　新たな取り組み
（１）毎週水曜日放課後の補習（３０分間）
教科；数学
対象；数学に比較的苦手意識のある生徒（希望者)、週コレの未提出生徒
（２）夏季休業中における学校体制での４日間の補習
教科；数学・英語
対象；希望者
（３）年間を通して、各学年の廊下に５教科の復習プリントを用意し、希望する生徒の家庭学習の一助とする。